

グローバル

先日、昼ご飯時に冷蔵庫を開けてみると、赤いパッケージの焼売!早速食べてみると、ご飯が欲しくなるおいしさ。「きょうけん♫」などと昔のCMソングを歌いながら箱を眺めると“楽陽食品”の文字が。焼売と言えば“崎陽軒”というイメージですが、最近では近所のスーパーで手に入りません。崎陽軒と同じく赤い箱の楽陽食品の焼売は、近所で購入したものでした。30年ほど前には、近所の大きなスーパーに置いてあったのですが。



上 楽陽食品	HPより
下 崎陽軒	HPより

崎陽軒の社長が地方を回り、その土地のスーパーやデパートを覗くと、売り場の隅に山積みされ、時にはトイレの入口のワゴンで売られていることもあったのです。この時、「全国展開すると目が届かない。焼売がかわいそうだ。崎陽軒というブランドを大切にしよう」と全国からの撤退を考えたそうです。今では、販売を神奈川・横浜を中心としたエリアに限定し、横浜のローカルブランドとして地位を確立しています。その結果、弁当、レストラン事業と幅を広げています。ローカルを大切にす、差別化と希少化を図る、そんな経営戦略が発展の要因のようです。



私は地方ではなく校舎内を回りました。1年A組は随筆を学んでいました。担当教員が「俳句や短歌、日記にはルールがある。例えば俳句なら5・7・5、日記ならその日にあったこと。随筆は気の向くままに書く」気の向くままに書くので、ルールがない文章であると学び直しました。ルールがないことで、かえって難しくなるということは往々にしてありますが…。



校舎内は卒業に向けて、装飾が残されています。



卒業生に向けて「今日もすてきないちにちにしよう」と、黒板にメッセージが認められていました。このチョークアートを見た直あとに暖かい気持ちに包まれました。3年生の廊下には在校生からのメッセージが飾られ、数々の感謝の言葉が贈られています。更に、“残された登校日カレンダー”が並びます。“のこり4日”の右の作品、どれだけの時間がかかったのでしょうか。秀逸です。



1年B・C組は英語で「My Best Memory」今年度の思い出を英作文して、英語にて発表する授業です。声にすること、間違いを恐れず会話することは上達への近道と聞きます。東京都教育委員会では国内外で活躍するグローバル人材の育成を推進しています。英語教育はその中核を成します。英語を含め海外に目を向けることは大切です。しかし、日本を地域を大切にす。私たちは地域に育てられているのです。



“グローバル”地球規模を意味するグローバルと、地域を意味するローカルを併せた造語です。世界を観る人間の育成は、地域を観る人間の育成に始まるのでしょうか。崎陽軒の戦略に、グローバル化を見ました。ローカルブランドとして価値を高めた結果、飲茶の本場台湾など海外進出を果たしています。地球規模の考えをもちながら地域に寄り添う。地域を大切にしながら世界を目指す。双方向がグローバル人材の育成には必要であると感ずます。

“校長室より”週一の更新で秀逸な作品を目指したのですが…。おかげ様で40号となりました。気の向くままに書いて参りました。

毎週毎週ご一読いただき感謝申し上げます。来年度もよろしく願いいたします。